

タンDEM自転車の効果

先日、初めて妻とレンタサイクルで「タンDEM自転車」に乗った。最初はふらついたが、二人息を合わせ、コミュニケーションをとることで徐々にうまくなり、とても楽しめた。

タンDEM自転車とは2人乗り用にペダルが縦列に設けられた自転車のことである。多くの都道府県では道路交通法の施行細則が改正され、一般道路ですでに走行が可能だが、三重県でも8月1日に解禁となった。これは、志摩市内でスポーツを生かしたまちづくりを行う一般社団法人「志摩スポーツコミッション」と志摩市などが、県警に対し、改正に向けて働きかけたことにより実現した。

同コミッションによると、タンDEM自転車は単にレジャー目的だけでなく、後席に視覚障害者や一人では出かけられない高齢者を乗せて一緒に買い物をしたり、風を感じてペダルをこぐことで自然と運動不足解消になるという。このように福祉的な視点や健康増進的な視点からの効果も期待できる。

また、タンDEM自転車は、2021年に開催が延期されたパラリンピックの自転車競技種目の一つで、志摩市はトライアスロン・スペイン代表の事前キャンプ地に決定している。これを機に、タンDEM自転車が安全に走行でき、伊勢志摩の自然を存分に体感できる素晴らしいコースを設け、世界に伊勢志摩の魅力を発信できれば誘客面での効果が大きいと期待できる。

伊勢志摩は全国有数のサイクリングスポットになれる可能性を十分に秘めた地だ。安全に走行できる道路や駐輪場の整備など、充実した受け入れ態勢づくりを期待したいものだ。

(コンサルティング事業部 経営コンサルティンググループ 主任研究員 慶徳 亘紀)

毎日新聞「三重～る経済」 2020年9月22日